

私がインターンシップで行った場所は成美放課後児童クラブというところでは、体験初日は何がどこにあるのかわからない学生の私たちにスタッフの方々や子供たちがいろいろ教えてくれてすごく助かりました。

午後は、夏祭りで射的を担当していました。射的をやりたい子供たちが多い中、スタッフが足りないと感じましたが、6年生の子供たちが手伝ってくれ、無事に終了でき大変な時間帯もありましたが頑張ったかいがあったなと思いました。

2日目の午前中、気温は42℃熱中症で倒れるという危険を避けるため、外には出られないという状況の中で、どう遊ぶのかと不安に思っていました。走り回ったり、飛び回ったり、喧嘩を始めそうになったりというトラブルもありましたが、カードゲームやブロック、ジェンガなどと、どの子供たちも限られた中で楽しく遊んでいてよかったですと安心しました。

私はルールが分からないカードゲームを1から教えてもらい、一緒に楽しく遊べてすごくうれしかったです。

午後は昨日と同じく夏祭りでした。金魚すくいやキラキラすくいの列が乱れないに、声掛けをしていました。大きな声を出すことが多かったのかかなり声は枯れましたが、子供たちが楽しそうでこっちまで楽しくなりました。

長いと思っていた3日間、とうとう最終日になってしまいました。この日も36℃を超えるととても暑い日で中遊びしかできませんでした。

ボールを人に向けて投げたり、バトルごっこを始めたり、昨日と比べて体を動かしたい子供が増えていたと思います。声掛けのため大声を出していたので、次の日家族に何言っているのかわからないと言われてしまうほど声がほとんど出ませんでした。

この3日間で褒めるばかり、優しくするばかりではなく注意するときはひるまず厳しくしないといけないことを学びました。

この3日間インターシップを通して、私が学んだことの中で子供と接するうえで大事なことだと思ったことは2つあります。1つ目は、注意するときにはしっかり注意することです。その理由は、「それはダメだよ。」と一言かけただけでは、少し離れた間にまた同じことをしていたり、何度言ってもなかなかやめてくれなかったりするからです。だから、注意するときには、ただ「ダメだよ」の一言だけではなく、何がどうダメなのかをちゃんと伝えるようにしようと思いました。2つ目は、トラブルや事故に繋がるものを予測し未然に対処することです。その理由は、トラブルや事故などを未然に対処することで、ケガやケンカの原因になるものを排除することができ、安心安全な環境を作ることができるからです。私が1番苦戦したことは、1日目の夏祭りの準備です。理由は、ふくらましたヨーヨーの口を持ちながら、その口にゴムをつけ、止め具をつけるという作業がうまくいかず、ヨーヨーの中の水が飛び散り、あちらこちらを濡らしたり、失敗して縮んだヨーヨーに何度も空気を入れたりなど、思うようにいかなかったので、結局2個しか作ることができなかったのが心残りでした。私が学んだこと中で、これからの高校生活で活かしたいと思ったことは2つあります。1つ目は慌てず冷静に判断することです。その理由は、私は少し問題が起きたりすると、パニックを起こしたりするからです。だから、物事を冷静に考えて判断や行動をとることを心がけようと思いました。2つ目は、先のことを考えて行動することです。その理由は、私はあまり先のことを考えずに行動をし、失敗することが多かったからです。だから、これからはこの2つを意識して行動しようと思いました。